

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院呼吸器センター外科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みにになり、ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間： 2020年4月1日 ～ 2021年7月31日の間に、肺結節のために虎の門病院呼吸器センター外科に入院・通院し、術中CTを受けられた方

【研究課題名】

可動式CTを併用した触知困難病変に対する術中同定による3-port胸腔鏡下肺切除術の検討

【研究の目的・背景】

《目的》

当科で開始した術中CTの有効性および安全性を評価します。

《研究に至る背景》

胸腔鏡下手術では肺の表面から比較的深い位置にある病変や、小さく淡い病変を術中に見つけることは時に困難なことがあります。こういった病変を術中に同定する方法は施設により様々であり標準法はいまだ確立していません。当科で施行している方法が有効かつ安全かを検討します。

【研究のために診療情報を解析研究する期間】

2021年10月25日 ～ 2028年4月30日

【単独／共同研究の別】

虎の門病院単独研究

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は 虎の門病院 呼吸器センター外科 藤森賢 のもと研究終了後 5年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

診療情報：診療記録、CT データ、術中所見

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2022年3月31日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 呼吸器センター外科 ・ 氏名 菊永晋一郎

電話 03-3588-1111(代表)